

これはアストラゼネカ英国本社が2004年7月22日に発信したプレスリリースの日本語訳です。
日本で未発売の製品については英語表記のままとします。

AstraZeneca PLC 2004年第2四半期・上半期業績

「第2四半期の売上高は成長製品の好業績により11%伸長。
配当は15%引き上げ」

ファイナンシャルハイライト

グループ	第2四半期 2004 100万ドル	第2四半期 2003 100万ドル	前年 同期比 %	恒常 為替 %	上半期 2004 100万ドル	上半期 2003 100万ドル	前年 同期比 %	恒常 為替 %
売上高	5,288	4,436	+19	+11	10,362	9,171	+13	+5
営業利益	1,111	889	+25	+15	2,190	2,161	+1	-5
税引前利益	1,139	921	+24	+15	2,247	2,214	+1	-5
1株当たり利益	\$ 0.50	\$ 0.39	+28	+18	\$ 0.97	\$ 0.93	+4	-3

伸び率は恒常為替ベース (CER)

- 第2四半期の売上は11%増の52億8,800万ドル、上半期の売上は5%増の103億6,200万ドルでした。
- 米国の第2四半期の売上が17%伸長した結果、上半期の売上は3%増となりました。米国以外の市場では、上半期の売上は7%増でした。
- 卸在庫変動調整後、主な成長製品の上半期の売上は約35%増でした。
- 第2四半期の営業利益は15%増でした。上半期の営業利益は、研究開発と販売費・一般管理費への投資が前年同期より高いレベルであったため、5%減でした。
- 上半期のその他収益、1億2,900万ドルにはデンマークでのDurascan後発品ビジネス売却益を含みます。
- 取締役会は第1回中間配当を15%引き上げ0.295ドルとすることを勧告しました。
- Nexium™ の上半期の売上は20%増の18億2,600万ドルでした。
- Crestor™ の上半期の売上は3億3,600万ドルでした。7月9日終了週のCrestor™ の米国スタチン市場の新規処方シェアは6.8%でした。
- セロクエルの上半期の売上は27%増の9億3,600万ドルでした。双極性障害におけるうつ病の治療における有効性を示す新しいデータが5月6日に米国精神医学会で発表されました。
- Exanta™ は、股関節または膝関節置換術時および術後の静脈血栓塞栓症予防の適応症で、6月21日にドイツで初めて上市されました。
- 当社は引き続き1株当たり利益を2ドルから2.15ドルの間と予想しています。

最高経営責任者トム・マキロップは次のように述べました： 成長製品（アリミデックス、Crestor™、イレッサ、Nexium™、セロクエルおよび Symbicort™）の業績が堅調で35%増となり、上半期の好業績に貢献しました。世界の医薬品市場は益々厳しさを増していますが、アストラゼネカは新製品に恵まれ成長軌道に乗っています。

2004年7月22日 ロンドン

Photos of Sir Tom McKillop, Chief Executive and Jonathan Symonds, Chief Financial Officer are available on www.newscast.co.uk. Broadcast footage of AstraZeneca products and activities is available on www.thenewsmarket.com/astrazeneca.

Media Enquiries: Steve Brown/Edel McCaffrey (London) (020) 7304 5033/5034
Staffan Ternby (Södertälje) (8) 553 26107
Rachel Bloom (Wilmington) (302) 886 7858

Analyst/Investor Enquiries: Mina Blair-Robinson/ Jonathan Hunt (London) (020) 7304 5084/5087
Staffan Ternby (Södertälje) (8) 553 26107
Ed Seage/Jörgen Winroth (USA) (302) 886 4065/(212) 579 0506

ビジネスハイライト *伸び率は恒常為替レート(CER)*

第2四半期

第2四半期の売上は、為替の影響（プラス8%）を含む報告ベースで19%増の52億8,800万ドルでした。米国以外の売上は7%増でした。米国の第2四半期の売上は2003年に対し17%増でした。在庫の変動を除外すると、米国の成長率は11%と推定されます。第2四半期ならびに第1四半期の在庫変動に関する更なる分析は本プレスリリースの6ページに記載されています。

第2四半期の研究開発費および販売費・一般管理費は30億4,200万ドルで、過去数四半期とほぼ同じレベルでしたが、2003年第2四半期に対し恒常為替ベースでは14%増でした（10%の為替の影響を含み、報告ベースでは24%増）。営業利益は恒常為替ベースで15%増でした（報告ベースでは25%増）。第2四半期の1株あたりの利益は2003年の0.39ドルに対して2004年は0.50ドルでした。

米国市場ではNexium™（14%増）、Toprol-XL™（27%増）、セロクエル（30%増）およびアリミデックス（46%増）が大きく伸長しました。また、新製品も今四半期の好業績に貢献しました。イレッサの売上は4,900万ドルで処方2004年第1四半期に対し17%伸長しました。Crestor™の売上は1億1,300万ドルでした。競合の激しいスタチン市場で、Crestor™の新規処方のシェアは7月9日終了週で6.8%でした。Crestor™の安全性に対する根拠のない批判が、米国市場における同製品の順調な進捗にある程度の影響を及ぼしました。有効性に優れリスクについては既存のスタチン製剤と同等であるCrestor™に対する当社の自信は変わりません。

米国以外の売上は、セロクエル（36%増）、Nexium™（27%増）、Symbicort™（42%増）およびアリミデックス（45%増）の堅調な業績を反映しています。また、最近上市された製品も好調でした。米国以外のCrestor™の売上は9,400万ドル、イレッサの売上は65%増の5,400万ドルでした。

Exanta™の最初の適応症（股関節または膝関節置換術時および術後の静脈血栓塞栓症予防）に関するEUの相互認証手続きが成功裏に完了したことが5月5日に発表されました。最初の発売国はドイツで6月21日に発売しました。心房細動を伴う脳卒中の予防を含む最初の長期使用の適応症に関する薬事当局による審査がEUおよび米国で継続中です。

上半期

上半期の売上は、為替のプラス影響8%を含む報告ベースで13%増の103億6,200万ドルでした。米国以外の売上は7%増でした。米国における第2四半期の売上伸長により、上半期の対前年度比の伸びが報告ベースで3%に上昇しました。昨年の上半期に対する正味の在庫減少、および在庫管理契約が実施されたことに伴い過剰在庫の再調整が行われたことで、この売上の伸び率は、推定成長率である11%よりも低いレベルのまま推移しています。

上半期の営業利益は報告ベースで1%増でしたが、恒常為替ベースでは5%減少しました。上半期の1株当たり利益は2003年の0.93ドルに対して、2004年は0.97ドルでした。取締役会は2004年9月20日に支払われる第1回中間配当を15%引き上げて0.295ドル（16.0ペンス：2.20クローナ）とすることを勧告しました。

今後の見通し

当社は引き続き通年の1株当たり利益を2ドルから2.15ドルの間と予想しています。前述のとおり、主な成長製品の業績が堅調であること、およびコストの増加率が下降傾向にあることから、下半期には大幅な増益が期待されます。ただし、全体的な米国の処方量、正味実勢価格、および上半期の為替差益の逆転などによって、マイナスの影響を受ける可能性があります。

注意：当社の利益やビジネスの見通しに対する上記の予測的な記述はリスクや不確定要素を伴っており、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメブラゾールの後発品の売上伸び率、既存製品の継続的成長（特に、Crestor™、Nexium™、セロクエル、Symbicort™、アリミデックス、イレッサ）、Exanta™の承認取得・上市の成功、コストや経費の増加、利率の動き、為替レートの変動、税率などがリスクや不確定要素です。これらやその他のリスクや不確定要素については、2003年アニュアルレポートForm20 - Fを含む証券取引委員会への有価証券報告書をご覧ください。

売上高

伸び率は向上為替レート (CER)

消化器

	第2四半期		CER %	上半期		CER %
	2004	2003		2004	2003	
Losec™/Prilosec™ (オメプラール)	531	714	-33	1,071	1,406	-32
Nexium™	891	631	+36	1,826	1,466	+20
Total	1,439	1,362	-	2,935	2,907	-6

- Nexium™ の米国での第2四半期の売上は39%増でした。流通在庫は減少したものの、減少レベルは前年同期ほど低くはありませんでした。Nexium™ の米国での総処方件数は昨年同期と比べ10.6%増で、総調剤錠数は18%増でした。米国PPI市場の新規処方量は、Prilosec™ OTCとの競合の結果、減少傾向を示しましたが、Nexium™ の新規処方のマーケットシェアは、3月に比べ6月には0.4ポイント上昇しています。
- Nexium™ の米国での上半期の売上は16%増でした。これは、推定成長率22%をやや下回っています。
- Nexium™ の米国以外での売上は第2四半期で27%増、上半期で32%増でした。フランスとドイツの業績が堅調でそれぞれ、38%増、26%増でした。
- Prilosec™ の米国での売上は、第2四半期で60%減、第1四半期で64%減でした。これは、6月までの累計で処方が69%減少したと合致しています。
- 米国以外の売上は、第2四半期で13%減、累計で10%減でした。しかし、日本での上半期の売上は23%増でした。

循環器

	第2四半期		CER %	上半期		CER %
	2004	2003		2004	2003	
Seloken™/Toprol-XL™ (セロケン)	320	380	-19	653	748	-16
Atacand™	216	152	+30	425	358	+8
Plendil™ (スプレンジール)	148	129	+10	259	239	+2
Zestril™ (ゼストリル)	117	118	-10	222	226	-13
Crestor™	207	9	n/m	336	12	n/m
Total	1,193	967	+15	2,248	1,936	+8

- Toprol-XL™ の米国での流通在庫は第2四半期の間、増加を続け、その結果、米国での報告ベースの売上は昨年に比べ26%減となりました。上半期の米国での売上の伸び率は(21%減)、6月までの総処方件数の累計の伸び率19%を大きく下回ったままの状態です。Seloken™ の米国以外の売上は、第2四半期で6%増、上半期で4%増でした。
- Atacand™ の米国での上半期の処方件数はやや減少しました(2%減)。上半期の報告ベースの売上(9%減)は、在庫の変動によって、第1四半期の33%減から一部回復しました。Atacand™ の米国以外での上半期の売上は18%増でした。
- Atacand™ は慢性心不全の新適応症での承認申請を欧州と米国において行いました。
- Crestor™ の第2四半期の売上は、米国で1億1,300万ドル、その他の市場で9,400万ドルでした。
- Crestor™ は上市が続き、現在までに61カ国で承認され、48カ国で上市されています。
- フランスとイタリアにおける上市後の立ち上がりは好調でした。フランスのスタチン市場における発売17週

後のCrestor™ のシェア（金額ベース）は2.8%で、イタリアでは、発売後13週目で6.1%のシェアを有しています。先に上市された市場ではさらに前進しました。スタチンの総処方件数におけるCrestor™ の直近のマーケット・シェアはオランダで9.3%で、カナダで10.9%、英国では3.7%です。

- 米国においては、ダイナミック・マーケット（新規、切替）において16.3%のシェアを達成しました。新スタチン処方市場における7月9日最終週のCrestor™ のマーケット・シェアは、6.8%でした。この背景に、7月4日が休日だったことおよびCrestor™の安全性について根拠のない批判があったことが挙げられます。臨床試験の膨大なデータベースがあり、これまでに600万件を超える処方がなされたことから、Crestor™ は既存の他のスタチン製剤と同等の安全性プロファイルを有しているといえます。

呼吸器

	第2四半期		CER %	上半期		CER %
	2004	2003		2004	2003	
Symbicort™	205	127	+42	393	249	+37
パルミコート	244	239	-3	526	490	+1
Rhinocort™	100	96	+1	181	186	-6
アコレート	23	25	-12	53	56	-9
Oxis™	26	29	-20	51	60	-27
Total	639	552	+7	1,287	1,115	+5

- Symbicort™は、拡大しつつある用量固定の配合剤市場においてシェアを獲得し、その結果、第2四半期の売上は引き続き伸長し、第2四半期は42%増、上半期は37%増でした。過去4四半期における売上は合計6億9,300万ドルでした。pMDI（加圧式定量噴霧式吸入器）の承認申請は7月9日に欧州で行われました。
- Pulmicort™ の上半期の売上は最近の傾向とほぼ一致していました。米国以外の市場での売上の減少（6%減）は、米国におけるPulmicort™ Respules™ の売上げ（20%増）により相殺されました。風邪、インフルエンザ、呼吸器疾患の発症のピークが昨年と比べ早かったこと、および、2003年の上半期と比べ正味在庫が減少したことが原因でPulmicort™ Respules™ の米国での成長率が低下しました。
- Rhinocort™ Aquaの米国における上半期の売上は、在庫の変動により8%減でした。総処方件数は1%増でした。

オンコロジー

	第2四半期		CER %	上半期		CER %
	2004	2003		2004	2003	
カソデックス	249	228	-1	478	417	+4
ゾラデックス	226	213	-4	439	406	-3
アリミデックス	191	143	+24	357	236	+39
イレッサ	103	47	+106	196	66	+182
Faslodex™	23	15	+46	49	37	+29
ノルパデックス	38	39	-13	69	100	-39
Total	834	690	+11	1,596	1,271	+15

- カソデックスの米国以外の上半期の売上は、日本（30%増）と欧州（9%増）の成長により14%増でした。米国の予測成長率は5%でしたが、上半期の報告ベースの売上は、卸在庫の増加（第2四半期は特に顕著に増加）を含む前年同期と比べ19%減でした。（報告ベースの売上は昨年に比べ29%減でした）。

- アリミデックスの米国以外の上半期の売上は早期乳癌の治療における使用が増えたため47%増でした。欧州での売上は53%増、日本は37%増でした。マーケット・シェアが拡大したため、アリミデックスの米国における総処方件数は6月までの累計で44%増でした。売上伸長率は、第2四半期は増減なし、上半期は29%増でしたが、主に前年の上半期に卸在庫が増加したことが影響しています。
- イレッサの米国での売上は、第2四半期では4,900万ドル、上半期では1億ドルに達しました。米国での小売処方件数は本年の第1四半期に比べ17%増となり、ほぼ26,000件でした。日本での上半期の売上は6,300万ドルで、40%増でした。これまでに、市販後の販売、倫理供給、臨床試験を含めて160,000人を超える患者さんがイレッサによる治療を受けています。
- Faslodex™ の上半期の売上には、今年3月の販売承認後、欧州で早期に上市された市場における400万ドルが含まれます。

ニューロサイエンス

	第2四半期		CER %	上半期		CER %
	2004	2003		2004	2003	
セロクエル	488	270	+75	936	714	+27
ゾーミッグ	91	54	+56	186	162	+6
Total	866	563	+46	1,678	1,370	+16

- セロクエルの米国における総処方件数の伸びは引き続き好調で、6月までの累計で33%増でした。セロクエルの米国における新規処方の6月のシェアは、2.4ポイント増の25.3%で、市場においてNo.2としての地盤を強化しました。前年同期に発生した在庫の減少により、米国における第2四半期の売上は93%増でした。この結果、上半期の成長率（27%増）は実勢成長率により近いものとなりました。
- セロクエルは米国以外でも堅調で、売上は第2四半期で36%増、累計で25%増でした。欧州での上半期の売上は38%増で、双極性障害におけるうつ病の適応症の上市後、マーケット・シェアの獲得が加速しました。
- ゾーミッグの米国以外の売上は、第2四半期で4%増、上半期で6%増でした。2004年第2四半期の米国での売上は前年同期に比べ大幅に増加しましたが、これは米国の販売会社であるMedpointe の売上を反映しています。2003年第2四半期は、当社のみでの売上であり、同四半期には在庫が大きく減少しました。

地域別売上高

	第2四半期		CER %	上半期		CER %
	2004	2003		2004	2003	
米国	2,288	1,962	+17	4,567	4,432	+3
欧州	1,928	1,646	+3	3,803	3,201	+3
日本	376	293	+13	666	536	+10
その他	696	535	+18	1,326	1,002	+19

- 米国における売上の傾向は、本年と前年同期における在庫の動きに影響されました。予測成長率は第2四半期、上半期ともに11%でした。
- 主力成長製品の上半期の売上は欧州で32%伸長し、これには売上が好調に伸びたNexium™（25%増）、Symbicort™（35%増）、アリミデックス（53%増）、およびCrestor™の上市後の売上が含まれます。
- 日本においては、オンコロジー製品（24%増）、オメプラール（23%増）が好調で、上半期の業績を押し上げました。

営業レビュー

伸び率は恒常為替レート (CER)

第2四半期

報告ベースで売上高は19%増、営業利益は25%増でした。恒常為替ベースで、売上高は11%増、営業利益は15%増でした。

当社は、米国で最大の3社を含む流通業者との在庫管理契約を結びました。この新規契約への移行は、第2四半期に開始され、6月末時点で、卸在庫のレベルは、目標レベルより約7,500万ドル高いものと予測されます。当社では、第1四半期末時と比べて1億7,500万ドルの減少であると分析しています。

為替は引き続き当社の業績にとってプラス影響となっています。昨年の第2四半期と比べて、ユーロは米ドルに対して6%高となり、売上高にプラス影響を与えました。一方、スウェーデンコロナや英ポンドも米ドルに対して高く、コスト高の要因となりました。全体として、昨年の第2四半期と比べ、為替のプラス影響があり、また昨年は損失が出たものの今期はヘッジにより利益を得たことで、1株あたり利益は約3セント増加しました。

第2四半期の売上総利益率は、1.7ポイント増の76.9%でした。このおよそ半分が、売上品構成の改善が続き、メルク社に対する支払い比率が低下（売上高比5.2%に低下）したためです。その他は、生産性の向上と前述の為替の影響によるものです。

研究開発費と販売費・一般管理費の総費用は、昨年の同期と比べ、3億4,200万ドルで、恒常為替ベースでは14%増（報告ベースでは24%）でした。研究開発費は、第1四半期とほぼ同レベルでしたが、販売費・一般管理費は製品の上市と消費者キャンペーンの開始により増加しました。

第2四半期の営業利益率は21.0%で、昨年同期より1.0ポイント増でした。主にDurascan事業の売却益によるその他収入増により利益率は1.3ポイント増加しましたが、販売費・一般管理費および研究開発費の増加により1.0ポイント相殺されました。為替は約0.5ポイントのプラス影響を与えました。

上半期

報告ベースの売上高は13%増、営業利益は1%増でした。恒常為替レートによる売上高は5%増、営業利益は5%減でした。累積では、為替のプラス影響により、1株当たり利益は約6セント増でした。現在の為替レートが続けば、為替による利益は最小限のレベルにとどまると予測しています。昨年の第2四半期でみられたヘッジによる利益は反復されず、今年前半の1株当たり利益に対する為替のプラス影響ははおそらく半減するものと思われる。

売上総利益率は1.6ポイント増の77.2%増でした。メルク社に対する支払い比率が（売上高比5.4%に低下）、このうちの約1ポイントに貢献しており、その他は操業の改善と為替によるものです。

研究開発費および販売費・一般管理費の累計は、昨年同期に比べ13%増でした（報告ベースでは24%）が、支出は昨年第2四半期移行のレベルとほぼ一致していました。上半期の営業利益率は21.1%で、昨年に比し2.5ポイント減でした。これは、今期の売上高に比べ、研究開発費および販売費・一般管理費が相対的に伸びたことが原因です。

利息および配当収入

上半期の正味利息・配当収入は5,700万ドル（2003年は5,300万ドル）で、第2四半期は2,800万ドル（2003年は3,200万ドル）でした。米ドルに対する収益率の低下と支払金利増による正味利息収入減は、金利スワップ契約の終了による利息により相殺されました。

税金

実効税率は2003年上半期の27.5%に対し、2004年上半期は27.0%、第2四半期は26.4%でした。

キャッシュフロー

上半期の例外的項目調整前の営業活動によるキャッシュフローは、2003年同期の24億7,300万ドルに対し若干減少し、23億9,200万ドルでした。例外項目に対する支出は2003年上半期の3億8,100万ドルに対し、700万ドルでした。2003年については、ゾラデックスの米司法当局との和解金が含まれます。

納税額および資本支出は、事業買収による現金収益とともに、昨年より若干減少しました。財務活動前の正味キャッシュフローは、2003年同期より2億6,200万ドル増加しました。第2四半期には、7億5,000万ドルの債券が発行されました。

配当

取締役会は、第1回中間配当金として、15%増、0.295ドルを、2004年8月13日時点の株主に、2004年9月20日に支払うことを勧告しました（16.0ペンス、2.20スウェーデンクローナ）。

株の買い戻しプログラム

第2四半期は、総額3億6,000万ドルで、770万株が買い戻され消却されました。これにより、上半期に買い戻された株は、総額9億6,800万ドルで2,020万株になりました。

2004年6月30日現在、発行株式は16億7,500万株です。

最新の開発品リスト

最新の開発品リストは、当社のウェブサイトにある投資家情報までアクセスしてご覧ください。、
www.astrazeneca.com、

今後のマイルストーンおよび主なイベント

2004年10月6日	年次業績レビュー
2004年10月21日	第3四半期業績発表
2004年10/11月	IFRS（国際会計基準）に基づく2003年度再表示

トム・マキロップ卿
最高経営責任者